

もう一つの聖火に おも 想いをのせて。

東京2020 パラリンピック 聖火リレー

8月12日から、パラリンピック聖火リレーが始まります。コンセプトは、「Share Your Light—あなたは、きっと、誰かの光だ。—」。これは、社会の中で誰かの希望や支えとなっている多様な光(人)が集まり、出会うことで、共生社会を照らす力としよう、という想いを表現しています。

パラリンピアンとは自身の運動機能の限界を知り、どうすれば残された機能を最大限に活かすことができるかを徹底的に追求してきた人たちです。高齢になれば、個人差はありますが、誰しも運動機能は衰えます。そこで、高齢者はパラリンピアンからたくさんのことを学ぶことができるはずなのです。

また、年齢や障がいなどを越えてスポーツをする喜びや、仲間ができる楽しみを実感できるパラスポーツは、心身をより健康な状態にしていく「未病の改善」にもつながります。

そうした思いを込めて、県では、2015年に「かながわパラスポーツ推進宣言」を発表しました。今後とも県は、パラリンピックを契機として、パラスポーツをより一層普及させることによって、未病の改善や共生社会の実現へつなげてまいります。

神奈川県知事 黒岩祐治

撮影のためマスクを外しています



父・純一さんからのエール
これからも自分の好きなことに
思いっきり挑戦してほしい。

小さい頃からずっと憧れてきた
パラリンピックに、聖火ランナーとして
参加することが出来る事は夢のようです。
障がい乗り越えて頑張っている世界の
人たちの夢が叶いますように、と祈りながら
聖火リレーをしたいと思います。

プロフィール

パラリンピック聖火リレー神奈川県代表ランナー

こいし まさや

小石 昌矢さん (横浜市立横浜総合高校3年)

生まれつき両太ももと、右腕の二の腕から先がない三肢欠損の障がいがある。小学4年生から始めた水泳に、父・純一さんとともに取り組み、小学6年生から国内最高峰の「ジャパンパラ水泳競技大会」に出場。2015年大会では100m平泳ぎで金、50mバタフライで銅メダルを獲得。今後の活躍が大いに期待される選手。8月22日に都内を走行予定。

パラリンピック聖火フェスティバル

各市町村で生み出された火を一つに集め、「ともに生きる社会かながわの火」として東京へと出立します。

神奈川県集火・出立式

日時：8月15日(日)18時30分～20時(予定)

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン(無観客)で開催します。

各市町村の採火式

県内各市町村で地域の特色を生かした「採火式」が行われます。

日時：8月12日～15日のいずれか1日に実施

詳しくはこちら



競技開催都県を聖火が巡ります

開催期間：8月17日～24日

場所：静岡県、千葉県、埼玉県、東京都

神奈川県ゆかりの選手を応援しよう!

SNSで「#神奈川からエール」をつけて選手に応援の気持ちを贈ろう!

選手プロフィールやメッセージはこちら



東京2020パラリンピック競技大会

開催期間：8月24日～9月5日(22競技)

【上記記事に関する問合せ】県オリンピック・パラリンピック課 045(285)0787 FAX 045(663)0113

県の人口と世帯
(令和3年6月1日現在)

総人口

9,246,429人 男 4,588,428人 女 4,658,001人

前年同月比

24,267人増

世帯数

4,259,532世帯

県のたよりホームページ版

https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/



「髪ふりみだして熱演」

(写真:相模原市・和光 宗雄さん)

御嶽神社の獅子舞は、その動きがダイナミックで見ていて迫力があります。いつまでも残したい祭りです。

(令和元年8月撮影)

場所:下九沢御嶽神社(相模原市緑区)
今年の下九沢御嶽神社の獅子舞は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。



令和3(2021)年 8月号 No.797

編集 / 発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
045(210)1111(代表)
045(210)3662 FAX 045(210)8834



※記事は7月19日時点の内容であり、変更になる場合があります

認知症の当事者が発信。 16名が「かながわオレンジ大使」に。

認 知症の方ご本人が思いを直接伝え、その人らしい活動を発信する「かながわオレンジ大使」。公募により決定した16名の大使が、さまざまな場で県民の皆さんに認知症についての正しい理解を伝えるための活動を行います。県は、認知症の方やご家族が希望をもって暮らし続けられる「認知症とともに生きる社会づくり」を進めています。認知症の方ご本人の当事者目線で、認知症に関するさまざまな施策に取り組みます。

認知症に関するさまざまな情報を発信しています。

日常生活のちょっとした変化に気づいたときにご相談いただく窓口も掲載しています。ぜひご利用ください。

詳しくはこちら



以前からヨガを教えていた経験を生かして、藤沢市鵜沼海岸の福祉施設「**亀吉**」で、週1回ヨガ教室のボランティアをしています。認知症により言葉がうまく出なくなる時がありますが、周りに助けてもらいながら楽しくやっています。参加する子どもたちがかわいく、喜んでもらえるのがうれしいです。これからもできる限り続けていきたいです。



ヨガを教える
むらの みつこ
村野 美津子さん(77)

16名のオレンジ大使からのメッセージや大使による「楽しむ×伝える×働く×支える」活動などを県誌で紹介しています。

詳しくはこちら



【上記記事に関する問合せ】県高齢福祉課 045(210)4846 FAX 045(210)8874

ともに生きる しのはら さとし \ 今月は、学校法人東海大学の篠原聡さんに伺いました! /

ユニバーサル・ミュージアムの実現を目指して!

私は大学の学芸員課程でユニバーサル・ミュージアム(誰もが楽しめる博物館)の実現を目指しています。県から「ともいきアート」の話を伺い、これは学生にとってとても有意義な学びの場になると期待しました。実際、県立平塚盲学校と連携した「創作×地域展示」は魅力に満ち溢れ、文化芸術活動が一人ひとりの思考や内面世界を育み、自他の存在を認め合うものの見方・考え方を培うことを、学生たちとともに確信しました。「常設展示」もスタートし、作品の集荷・点検・展示作業をはじめ、オンライン展示用の映像制作などに学生が実践的にチャレンジしています。ともいきアートを通して、全ての人の尊厳が守られる平和な社会の実現を目指します。

ともいきアート(「手の世界制作」展など)の取り組みについてはこちらから



東海大学教職資格センター・篠原聡准教授



このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。



ともに生きる社会 **かながわ憲章** 平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年7月26日、県立の障がい者支援施設である「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、県と県議会は、この悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めました。

かながわ憲章

検索



【上記記事に関する問合せ】県共生推進本部室 045(210)4961 FAX 045(210)8854



鶏肉の生食、生焼けにご注意を!

鶏肉やレバー等はカンピロバクターに汚染されていることが多く、生のまま、または生焼けのまま食べることで起こるカンピロバクター食中毒が多発しています。「新鮮だから安全」という認識は間違いです。中心までよく火を通してから食べましょう!

【問合せ】県生活衛生課 045(210)4940